

Weeds

くまもと障害者労働センター
 〒862 熊本市保田窪本町9-4
 TEL 096-382-0861
 発行日 1992.1.20

ワクワクドキドキ

リフトバス 贈呈式 忘年会

盛りあがった

雨降、て地固まる — 12月20日はそんな言葉が実感される一日でした。一年間いろいろなことがありました。楽しいこと、いいことだけでなく、落ち込み、傷つき合ったりということもありました。でも、そんな中でも仕事をやり続け、センターを続けたいという気持ちを写し合せてやってきました。この日、リフトバスというビッグなクリスマスプレゼントとそれを祝福に集まってくれた皆さんの暖かい気持ちにあふれた今年最後の忘年会です。すっかり報われた思いでした。'92年はまこといい年になりますよ。

1991年12月20日に24時間TVよりリフトバスを贈呈してもらいました。当日は天気も良く労働センターみんなでKKTに贈呈式に行きました。リフトバスを貰うのは初めてだったので、目録を貰うとき緊張していた倉田代表でした。説明を聞いているときは、みんなワクワクしていた様子でした。その後、みんなでリフトバスに乗り込んで琴平神社に走り御払いをしてもらい労働センターに帰ってきました。

まだ新車なので、みんな傷を付けないように恐る恐る乗っています。その夜、センターで忘年会を開きました。一人一人役割分担を決めて2日前より準備に取り掛かり、忘年会ができる雰囲気になりました。参加者も思っていたよりも多く、楽しい会となりました。参加者は、共生者生協の皆さん、くまもと生協の皆さん、高教組の先生、各学校の先生、その他沢山の人が参加してくれました。飛び入りの福原君も……。野口さんの名司会で会も順調に進み、カラオケも出てきました。新入り（新メンバー）の久島君もいやいやながら歌っていました。鹿本商工の大野先生の紙芝居もみんな良かったと言っていました。

この夜、遅くまでのみ明した人もいたようですが、楽しくて面白い忘年会になりました。最後に参加して下さった皆さん、ありがとうございました。



この日本城の住人バスを刺さる下止さん、運転手のホリエマの下山さん

おくれはせの
メンバー紹介



名前 平島浩美 年齢 18才

今までは、福祉生協（弁当部龍田支部）の仕事をしていましたが、三月の末までやめました。でも、仕事が、見つからないので、心配しました。共に生きる会の時に紹介をして、みんなで話会ってやっと見つかりました。障害者労働センターに9月30日（月）実習にきました。友達も仲良くなるし、一語にしゃべったりして楽しい所です。10月に入って、少しずつなれてきました。まだ会っていない人もいますし、もし出来たら、お話したいなあとおもいます。

実習が終わったら、今まで以上頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。



ネットワーク

能登福祉連
が動き出しました。
能登県福祉作業所
連絡協議会

昨年県障害者福祉作業所連絡協議会ができました。通称熊福連この作業連絡会では県内13ヶ所の小規模作業所から活動報告や困っていることを話し、これまでも何度か、会を開きましたがまだ助成金を受けていない作業所もあり、障害が重く毎日通うことが出来ない人もいたり、ボランティアの人も来てくれないことが悩みの多いところです。この間県と市に交渉にいきました。内容は「助成金の金額を上げて欲しい」と言うこと、「期限を無くして欲しい」ことを話しました。それから熊本県内と同じ人口でも明らかに違うことが、資料であったので交渉のとき提出しました。反応はどうだったかは、県は期限については前向きに検討するとのこと。市は県の出方を見て検討すると答えが返って来ました。これからの活動としては、県外の作業所を研修に行ったり、いろんな制度の勉強会をしたり行政と交渉を考えています。

人 = 92年度・募集中？

- ★メンバー…通所方法、時間等いろいろご相談下さい。
- ★専従…一緒に作業所で働いてくださる意欲のある人で、経理ができる（又はこれから覚束たい方）と、手作業や食事・入浴等の生活面の介助を主にする方。2名程度、時間や日教等は相談して決めたいと思います。
- ★ホウニティア…外出や行事の時、手助けしてくれる方。また、センターで販売する手作り品の作成も実費+α程度で請け負ってくださる方（自宅でも可）

※市役所との話の中で「作業所が地域福祉の肩代りを担っていることは認めるが、今後とのくらしいニーズがあるのか行政ではつかぬないので、さらに具体的に示してほしい」との要請がありました。それでメンバー希望について、2~3年くらいの間に適当な作業所があれば行きたいという気持ちのある方をぜひ知っていただき、ご連絡下さい。